

## 平成16年度・第1回技術委員会議事録

|        |                                                     |       |  |
|--------|-----------------------------------------------------|-------|--|
| 開催日時   | 平成16年4月13日(火) 午後5時00分から午後7時00分                      |       |  |
| 場所     | 京情協事務所                                              |       |  |
| 議題     | 1.平成15年度技術委員会事業活動における反省会<br>2.平成16年度技術委員会事業計画の取組み方法 |       |  |
| 出席者    | 委員長 島津エス・ディー(株)                                     | 山本 孝  |  |
|        | 副委員長 (株)京信システムサービス                                  | 村路 秀明 |  |
|        | 委員 ウエダコンピュータシステム(株)                                 | 武部 裕彦 |  |
| (欠席)委員 | 中信コンピューターアンドコミュニケーション(株)                            | 三上 雅弘 |  |
| (欠席)委員 | 京都コンピュータ学院                                          | 植田 浩司 |  |
| (欠席)委員 | (株)日立製作所京都支店                                        | 清山 光彦 |  |
| (欠席)委員 | エイジシステム(株)                                          | 谷岡 伸昭 |  |
| (欠席)委員 | アステック(株)                                            | 安達 貞雄 |  |
| (欠席)委員 | ムラテック情報システム(株)                                      | 井上 雄夫 |  |
| (欠席)委員 | エスピーメディアテック(株)                                      | 宇山 明彦 |  |
|        | 事務局長 (株)京信システムサービス                                  | 須磨 光  |  |

## 議 事

## 1.平成15年度技術委員会事業活動の反省

- (1)「身障者のパソコン・リテラシー実態調査結果報告書」を京情協会員、京都府、京都府身体障害者団体連合会および情報関連団体に3月末に配布し、意見・希望を集めることとした。
- (2)「情報化ホットライン事業」として京情協のホームページに相談コーナーを設けているが、相談実績はなかった。相談し易いわかり易い広報のしかたが必要との意見があった。広報委員会に一度相談することとした。
- (3)「コンピュータ・ウイルスの情報広報」を京情協のホームページからIPAのホームページを通じ広報するようにしているが、ウイルスに対する警告を促す広報のしかたが必要との意見があった。本件も広報委員会に一度相談することとした。
- (4)10月にオープンフォーラム(凸版印刷のRFタグの取組)、2月にオープンセミナー(宇治市の住民情報流出の教訓、ISMS適合制評価制度)を開催し、反響面、集客面において良いセミナーとなった。
- (5)SE研究会(テーマ:開発効率を上げるには・・・)を3回(12月、1月、2月)開催し、「システム設計書」、「テスト設計書」の作成における並行開発手法にて開発効率向上に繋がるヒントが得られ、交流も含め実のある研究会となった。

## 2.平成16年度技術委員会事業計画の取組み方法

- (1)「身障者のパソコン・リテラシー実態調査結果報告書」の配布に伴い、調査結果に対する意見・希望の返信を5月末まで待ち、その内容を含め編集し直した形で印刷化を行い、行政機関や全国の情報関連団体へ9月末を目途に作成し送付することとした。
- (2)SE交流会(SE研究会)のテーマとして「開発効率」「品質」「新技術」「情報セキュリティ」を柱として、それぞれのテーマ毎に技術委員会委員の役割分担(2名程度)を前もって決定し、世話人的役割で参加者の招集および広報を行うこととした。  
また、テーマ内容に応じ他委員会への共同テーマを提示と、参加SEの呼びかけを行うこととした。
- (3)オープンセミナー(2回)開催のテーマおよび講師役を他委員会へも呼びかけ、興味のあるテーマにて開催する。

### 3. 技術委員会体制について

技術委員会の集まりが悪いことから、他の委員会と融合した技術委員会活動を行ってはとの意見があり今後の技術委員会体制を議論した。

- (1) 委員会の集まりは悪いが、活動内容においては成果が得られている。
- (2) 技術委員会事業の個々の内容においては、ISO、ISMSなど経営に関連するもの、情報公開の広報に関連するものや地域情報産業の活性化に関連する内容など、個々に経営委員会、広報委員会、地域情報化委員会に密接した内容もあり、他の特定の委員会との融合は難しい。
- (3) 情報産業協会という肩書きから、技術に関連した組織体制がないことは対外的にも好ましくないとされる。
- (4) 京都コンピュータ学院の吉村部長から技術委員会に京都情報大学院大学教授の柏原氏を技術委員会に参加（予定）させてもらいたいとの依頼があり、技術委員会委員が1名増となる。

SE研究会の役割分担も明確化となることから委員会参加も活発化されることと、以上のことから、技術委員会は独立した委員会体制として存続させる必要があるとの結論になった。

### 4. 次回技術委員会開催予定 平成16年5月11日（火）17時開催とする。

次回の委員会でSE研究会テーマ毎の役割分担を行いますので、委員の方は必ず出席して下さい。出席なき場合は、委員会決議にて役割を決定させていただきますのでご了承お願いいたします。

以 上